



淡い青から濃い青まで。

6月・7月・8月...  
夏をイメージする色はなんでしょうか。

梅雨の頃の紫陽花のブルー、浴衣の藍色、コバルトブルーの海の色。

天地創造の色、空と海をイメージする色-Blue-は、性別、国籍を問わず常に嗜好色の上位です。

若さ、新鮮さ、希望を表す色。

また優れた沈静を促し、意識をリラックスさせるとともにエネルギーを増強させる回復力の色とも言われます。

青の色もいろいろです。

色相順に、緑みの青の代表はターコイズブルー(回教寺院の青/トルコ石/古代エジプトの焼き物ファイヤンス)

青はジャパニーズ・ブルーとも言われる日本の伝統色藍色。藍瓶にちよっとくぐらせただけのごく淡い藍色「瓶覗」から藍染の色名は「浅縹」「縹」「藍色」「紺色」の順に濃く暗くなっていきます。

紫みの青は群青色・ウルトラマリン・ラピスラズリ。

配色は白×ブルーが代表的。クールでクリアなイメージです。

最近注目されている北欧のインテリア・ファブリック食器などにも多く使われています。

青系の色名には、水色・アクア・ターコイズブルー・ピーコックブルー・ベビーブルー・空色・スカイブルー・セルリアンブルー・青・コバルトブルー・藍色・プルシャンブルー・ミッドナイトブルー・紺色・群青色・紺青・インディゴなどがあります。

元気な青を見つけに、街へ。

流行色協会は2004春夏流行色の1つとして、ペールからダークまで様々なトーンのブルーバリエーションを選びました。青はスペクトルの「クール」な側にありますが、穏やか・沈静の色としてだけでなく、今年の青は元気な青。

この夏、アテネオリンピックが開かれるギリシャの国旗には青が使われていますし、美しいエーゲ海の青はエージアン・ブルーと呼ばれています。真っ白な家並みのミコノス島とエーゲ海の青さの対比はとても素晴らしいものです。

青は一方でその土地土地のエスニックな雰囲気をかもし出し、作家ラフカディオ・ハーンは「日本は青の国だ」と最初の印象を記しています。家々の軒先に連なる藍染暖簾を見てのこととか。写真家・浅井慎平さんは「ブルーは止まらない」と言いましたが、まさに波や水の流れは動きですね。

元気に動く青。あなたもぜひタウンウォッチングして、元気な青を街で発見してください。



オリエンタル・ブルー

ターコイズ・ブルー

瓶覗(かめのぞき)

浅縹(あさはなだ)

濃縹(こきはなだ)

コバルト・ブルー

青

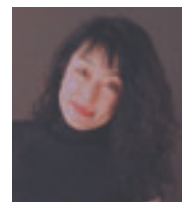
ラピス・ラズリ

ニゼル

スカイ・ブルー

ヘブンリー・ブルー

ロイヤル・ブルー



COLOR WORKS

西島 幸子(Nishijima Sachiko)

化粧品会社制作部でパッケージデザイン、デザイン会社等でカラー・パッケージデザイナーを経て1995年、COLOR WORKS設立。色を切り口とした商品企画・パッケージデザイン・カラープランニングを手がける。

(社)日本パッケージデザイン協会会員

(財)日本色彩学会会員

(社)日本流行色協会会員

\*著書 COLOR WORKS

花と色のメッセージ 誠文堂新光社

\*所在地

東京都目黒区自由が丘1-21-7

